

## 8.20 広島八木災害報告（第 48 報）

2015.11.19

11 月 12 日、最大の被災地、八木 3 丁目の県営住宅の山上に、砂防ブロックを建設中です。昔から、地元の農家の人たちが、作物のための雨の少ない季節には、雨乞いをしてきた山を崩して砂防ダムの保安路を作る予定です。その“雨乞山”の中に、私の家の古い墓地があります。130 年前に作られたものですので、切石をたくさん使った頑丈な土台でできた墓地です。このたび、建設省から墓地の撤去を要請されました。まず、墓地には眠っている先祖の遺骨を他の場所に移す作業をしなければなりません。菩提寺の浄楽寺の住職さんに頼んで、過去帳を見ながら、収納されている遺骨の名前の確認をする作業から始めます。更に、墓屋さんをお願いして、墓碑と土台を他の場所に転置するための検討を始めています。かなり大変な作業で、予期しない仕事が増えてきました。

11 月 16 日、日本医師会、広島県医師会の依頼で RCC テレビの 30 分番組「被災地のその後」の収録が始まりました。私の家の裏山の土砂崩れの様子を生々しくお話をして、現在の復興状態を撮影しています。その番組の中に当時の「救急診療所」の支援や、「子どものこころ支援事業」のことも入る予定です。12 月 13 日の午後、放送予定だそうです。

一昨日から降り始めた雨が、かなりの量になってきました。八木・梅林学区の被災地では、昨夜半から“避難準備令”が発令されました。その為に、避難所である梅林小学校体育館が一晩中点灯されていました。

11 月 20 日本日は、明日から始まる「日本子ども虐待防止学会」の座長を務めるために新潟へ出張です。

2015.11.19.10 時

桑原医院 桑原正彦